



あけまして  
おめでトン!

大船渡市PRキャラクター  
「おおふなトン」

## 謹賀新年



大船渡市長  
戸田 公明

令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災の発生から、間もなく9年が経過いたします。この間、国内外からの多大なるご支援と市民の皆様からのご理解をいただきながら、復興を進めてまいることができましたことに、深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、本市の復興計画は、計画期間最終年度の令和2年度末に向け、終盤を迎えております。現在進行中の事業につきましては、計画期間内の完遂を目指しており、今まさに「総仕上げ」の段階にまで進んでまいりました。

大船渡駅周辺地区におきましては、土地地区画整理事業の基盤整備工事が完了したほか、夢海公園が完成・供用開始となり、子どもが元気に遊び、市民が憩い、交流する姿が見られるようになるなどに、ごわいを見せております。

また、被災跡地の利活用の一環として、企業誘致のため末崎町小河原地区に整備した産業用地には、大規模なトマト栽培施設が建設され本格的に出荷が始まったほか、三陸町越喜来浦浜地区では、夏イチゴ生産・担い手育成拠点施設の建設工事が進められております。

さらに、中赤崎地区では、スポーツ交流ゾーンの用地整備に向けた設計業務に着手するほか、三陸町越喜来浦地区における、旧甫嶺小学校を活用した地域との協働による新たな体験交流拠点の整備など、復興まちづくりに向けた多様な取り組みを積極果敢に進めております。

一方で、人口減少・少子高齢化を背景とした多様な地域課題に対応したまちづくりを、より一層推進しなければなりません。そのため、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標の具現化を精力的に推進してまいります。

第一に、仕事をつくり安心して働けるよう、水産・食産業の競争力強化をはじめ、新産業創出と起業・第二創業支援など、民間パワーを引き出す施策を推進してまいります。

第二に、本市への新しい人の流れをつくるため、観光スポットの周遊やスポーツ大会、文化イベントなどを通じ、多様な主体による交流人口の拡大に取り組んでまいります。

第三に、安心して家庭を築き、子どもを産み育てられるよう、若い世代の希望をかなえる出会いと結婚の支援を展開しながら、妊娠期から子育て期の継続的な支援の充実を図ってまいります。

第四に、大船渡で生涯暮らし続けられるようにするため、地区や団体、行政が協働し、誰もが住みやすいまちづくりを推進し、地域力の向上に努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多きすばらしい年になりますことを心から祈念し、あいさついたします。